

2021 年度春季シンポジウム「持続可能な社会の実現に向けて」 ～豊島廃棄物と PCB 問題の解決から、21 世紀の脱炭素社会へ～ オンライン配信のご案内

20 世紀の最大の廃棄物問題であった豊島産業廃棄物問題も地下水の浄化を残すのみとなり、また PCB 廃棄物処理問題も高濃度 PCB 廃棄物は終盤になりました。今までの取り組みを振り返る意味で、これらの問題に中心となり関わってこられた早稲田大学名誉教授の永田勝也氏に日本的な解決アプローチ、解決の意義や得られた知見等を振り返って紹介していただきます。そして環境省の廃棄物規制課課長・神谷洋一氏には日本の PCB 廃棄物処理の全容について詳しく報告していただきます。次に 21 世紀の脱炭素社会への取り組みを展望する意味で、豊橋市には PFI 方式のバイオマス利活用センターにおける下水汚泥、生ごみ等の地域バイオマスの集約処理及びエネルギー利活用の取り組みを三木寅男氏に解説いただきます。また洋上風力発電など再生可能エネルギー事業の推進を通じたエネルギー変革のリーディング・カンパニーへの道のりを(株)レノバ社長の木南陽介氏が語ってくれます。

【新型コロナ対応について】昨今の新型コロナウイルス感染症流行の状況を考慮して、オンライン配信いたします。

1. 開催日時：2021（令和 3）年 6 月 30 日（水）14：00～17：00

※6 月 30 日開催当日の視聴が出来ない方は、オン・デマンドサービスにて 7 月 5 日以降 7 月末まで視聴可能です。

2. 開催方法：無観客開催、オンライン中継配信

※参加には事前登録が必要です。参加者は視聴と資料のダウンロードが出来ます。

3. 定員：300 名（配信拠点数制限で、定員になり次第締め切りさせていただきます。）

4. 事前登録申込締切：6 月 25 日（金）

5. 主催：(株)廃棄物工学研究所

6. 後援：環境省

7. 協賛：(公財)廃棄物・3R 研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

8. 協力：(一社)日本ガス協会、(一財)日本環境衛生センター、(公社)全国産業資源循環連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)環境衛生施設維持管理業協会、(一社)廃棄物資源循環学会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本産業機械工業会、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾 OB 会、フォーラム環境塾・NPO 法人都市環境フォーラム

9. 事前登録費：上記協賛協力団体の会員：5,000 円、非会員：10,000 円、自治体職員：4,000 円、学生：2,000 円

10. プログラム

時間	講演内容	講演者
14:00～14:15	オープニング・スピーチ シンポジウムの企画とその趣旨	(株)廃棄物工学研究所代表 田中 勝
14:15～14:55	特別講演：日本の負の遺産の解決から学んだこと ～豊島廃棄物問題と PCB 廃棄物処理～	早稲田大学名誉教授 永田勝也 氏
14:55～15:35	基調講演：日本の PCB 廃棄物処理の全容	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課・課長 神谷洋一 氏
15:35～15:45	休憩	
15:45～16:05	地方行政解説：豊橋市における地域バイオマスの効率的な集約処理及びエネルギー利活用の取り組み	豊橋市環境部環境政策課 課長補佐 三木寅男 氏
16:05～16:45	特別講演：再生可能エネルギー事業の推進を通じたエネルギー変革のリーディング・カンパニー	(株)レノバ代表取締役社長 木南陽介 氏
16:45～17:00	クロージング・リマーク 「国連の SDGs の推進と環境問題」について	(株)廃棄物工学研究所代表 岡山大学名誉教授 田中 勝

事前登録のお申し込みは、申込用紙にご記入の上、メール添付にて
運営事務局[info@riswme.co.jp]まで送りください。

お問合せ先：運営事務局 (株)廃棄物工学研究所(担当：石井) Tel/Fax 086-239-5303

※事前登録の申込用紙は、(株)廃棄物工学研究所ホームページ(<http://www.riswme.co.jp>)からダウンロードいただけます。